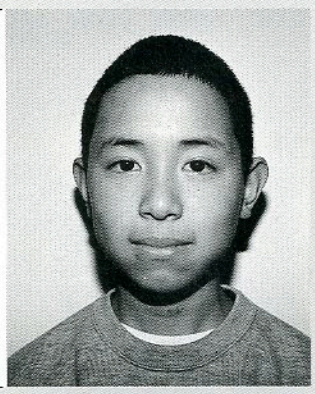
広報 さめがわ
平成6年 1 No.481

あけましておめでとうございます
平成六年 元旦



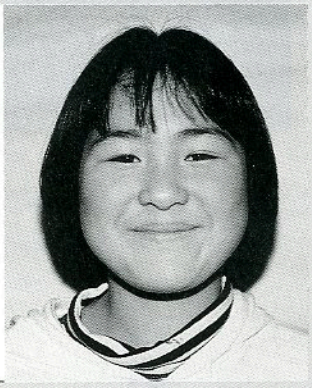
鮫川小学校　矢吹美香子
今年は、私にとって小学校最後の年、思い出の多い年となるように、全力で挑戦し自分の力を試したいと思います。



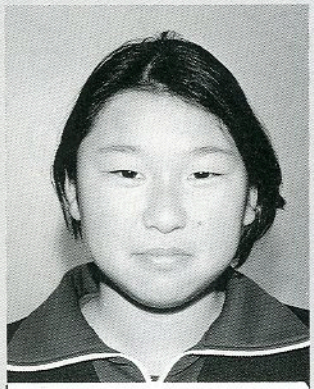
今年は、健康に満ちあふれ、勉強にも運動にも力を入れて活発に生活できるような一年にしたいと思います。
富田小学校　坂本　隆



青生野小学校　武藤　治樹
去年は水泳やソフトボール、サッカーを通して、運動する楽しさを知りました。今年はさらにがんばりたいです。



今年は、六年生になります。いろんな人に気軽に声をかけられるやさしい人になりたいな。
西野小学校　高坂　敦子



今年は、学校の代表として、勉強に運動にがんばりたいです。また、みんなのためにつくしたいと思います。
渡瀬小学校
一ノ渡美保



鈴木昭治さん(新宿)飼育の〝タロ〟シベリアンハスキーのオス9か月



今年は、勉強に力を入れたいです。去年は授業でふざけていたので、先生の話をきちんと聞くようにしたいと思います。
西山小学校　関根佑一

発行／編集　鮫川村総務課　〒978-04 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39の5 TEL(0247)49-3111　印刷／佐藤印刷所

新しい年によせるねがい



鮫川村長　芳賀　文雄

新春を迎え、謹んで村民皆様の一層の御健勝と御多幸をお祈り申し上げますとともに、日ごろ村政にお寄せいただいております御支援と御協力に対し、心から感謝を申し上げます。

昨年最大の関心事は何といっても大冷害の襲来であります。長雨・低温・日照不足など、明治三十八年以来の異常気象であり、現在の農業技術水準では効果的な対応もできないまま過ぎたことは残念であり、また得難い教訓を与えてくれた年でもありました。

阿武隈山系地域の冷害凶作は古い時代から文献口碑に伝えられるところで、大冷害は二年続くと言われ、また冷害の二年目が農村経済にとって容易でない年であることの理解に立って真剣な努力が必要であります。

資金・飯米・就労・賃金・再生産対策など、経営面の改善・経済機関や行政の果すべき役割など、十分連携と協力を進めて参ります。

平成六年は、「二十一世紀に向って活力あるむらづくり」を基本目標として、村民のくらしに焦点を当てた地域づくりを進め、村民のエネルギーを引き出し、意欲を高めつつ創造性と活力ある社会を築いていくため、「豊かな自然を活かしたふれあい豊かな産業づくり」「うるおいとやすらぎを与えるふるさとづくり」「いこいとゆとりのあるむらづくり」を基本施策として、鮫川村振興計画、新過疎計画により、農村総合整備モデル事業、中山間地域農村活性化整備事業、新山村振興対策事業、地域畜産活性化事業、西野小学校改築事業、村営バス事業などを実施いたします。

執行に当っては、厳しい国の財政を取り巻く環境を踏まえ、村の実態に即した行財政のより効率的な運営に努めながら積極的な村政運営に取り組む考えであります。

新しい年に数々の希望と願いをこめて、今年こそ皆様にとって幸多い年であり、すべてに豊かな恵みがありますようお祈り申し上げごあいさつといたします。

住みよい村づくりに全力を



議会議長　蛭田一

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、村議会を代表し村民の皆様に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、低温と日照不足という異常気象により、本村の農作物に甚大な被害をもたらし、特に水稲は穂いもち病の多発と不稔障害で、明治三十八年以来の記録的大冷害となり、バブルの崩壊以降続いている経済不況に更に拍車をかける結果となり、このことは、憂慮しなければなりません。

議会といたしましても、国県に対して被害農家等に対する救済措置を積極的に働きかけるとともに、この不況をはね返すべく自主的、主体的な地域振興策を考えていかなければならないと痛感し努力しておるところであります。

また、国においては政治改革やコメ市場開放問題などの大きな変革の時期を迎えておりますが、地方においても過疎や急速に進行しつつある高齢化社会への移行などいまだかつて経験したことのない事態に直面し、まさに行政の真価が問われる時代に突入したと言っても過言ではないと思います。

本村におきましても、若年層の流失から人口構成の高齢化が続き、村政の発展を図るうえでの重大な時期となっており、これらに対処するための保健福祉対策、農林業の振興と活性化、二十一世紀を担う若者の育成、生活環境施設の整備など課題が山積しております。

平成六年は、さらに厳しい年であると予想されますので、われわれ議会としても執行機関と協調しながら、村民が鮫川村を誇りとし、鮫川村に住む喜びを噛みしめることのできる「むらづくり」に、全力を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

終わりに、村民皆様のますますのご健勝とご発展を心からお祈りいたしますとともに、村議会に対する一層のご支援ご協力をお願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

営農対策

1．穂いもち緊急防除対策事業

昨年８月下旬に穂いもち病防除のため、カスミン紛剤を配布した事業

事業主体　ＪＡ鮫川村
事業量　カスミン 4,540袋
事業費　2,052,080円
補助費　1,368,000円（補助率$\frac{2}{3}$）

2．優良種子供給対策事業

平成６年用の水稲種子購入に対し、補助金を各集荷業者に支出、価格を引き下げて農家へ販売する事業

うるち30,920kg もち2,260kg 1kg当たり520円
事業主体　水稲種子取り扱い業者
事業費　17,253,600円
補助金　13,803,000円（補助率 村単価520円の80％）

3．稲わら総合利用緊急対策事業

冷害により米の収穫が見込めない水田等で、刈り取り放棄を防ぐとともに稲わらの有効利用を図り、平成６年の水稲作付けがスムーズに行われるための事業

事業主体　ＪＡ鮫川村
事業量　共済引受可能面積に対し、10ａ当たり5,000円を補助する
補助金　23,150,000円

共済被害率		
80％以上90％未満		500円
〃	90％以上	1,500円

4．こんにゃく種いも確保対策事業

冷害によりこんにゃく種いもが確保できなかった農家が、種いもを購入する場合こんにゃく農家の経済負担を軽減するため補助金を交付する事業

事業主体　ＪＡ鮫川村
事業量　2,500kg
事業費　1,790,000円（2,500kg×716円）
補助金　894,000円（補助率$\frac{1}{2}$）

5．水田作付条件整備事業

排水条件の悪い水田の条件整備のため、暗渠排水を行うものに対し補助金を交付する事業

事業主体　土地改良区
補助費　5ha 3,925,000円

6．水稲共済金早期支払対策事業

事業主体　東白川農業共済組合
補助金　275,000円（事務円滑化のための補助）

飯米確保対策

冷害により、飯米が不足した農家へ飯米を供給する事業

買受け申込み者数　三七一戸
買受け希望数量　一三四、二三〇kg
（一、一三七・二俵）
米穀供給者　福島県経済連

策まとまる

長雨、日照不足などによ最終的に約９億円余りとこれら冷害による被害のとともに、来年の農作物くよう各種対策を11月の議会に提案、可決されま事業主体を窓口に順次実す。

村県民税・国保税の減免

冷害被災農家の冷害対策として九月に開かれた臨時議会で村税減免条例が議決され、条例に基づき、次の税額が減免になりました。

村県民税　一六四件　五一八、四〇〇円
村　三一〇、九〇〇円
県　二〇七、五〇〇円
国民健康保険税　二七〇件　四、四五六、三〇〇円

災害資金対策

金融機関が被害を受けた農家に対し、災害資金を貸し付けた場合、村が利子補給を行い、農家経済の安定を図る事業

資金名	村利子補給率 3年間→4年目以降	最終貸付利率 3年間→4年目以降
天災資金 33,630,000円（49件）		
（3.0%資金）	0.8425%→0.855%	1.0 %→1.4 %
（5.5%資金）	0.925%→0.8375%	1.9 %→2.5 %
農家経営安定資金 37,890,000円（54件） （貸し付け限度額）	0.65%	2.5 %
鮫川村農協災害資金 30,000,000円 （貸し付け限度額）	1.2 %	3.0 %

村有林等保育管理事業

被災農業者就業の場を作るため村有林等の管理作業を東白川郡森林組合に委託して行い、作業員は村が募集し、村が定める額で賃金を支払う事業

作業場所　明治一〇〇年記念部分林・林業後継者の森（青生野）
蕨ノ草村有林・強滝村有林・村民運動場・青少年広場

'93 冷害対

昨年７月以降の低温、る農作物への被害額は、なる見込みです。村では影響を少しでも和らげるの作付けがスムーズにい臨時議会並びに12月定例した。これら対策は、各行されます。

商工業者対策

冷害により、商工業者への影響も大きいので、融資限度額の引上げや利子補給を行う事業

鮫川村商工業経営合理化資金

融資限度額　3,000,000円→5,000,000円
冷害対策資金利子補給　1.5%（５年間）

償還金利子補給

冷害により被害を受けた農家の経済負担を軽減するため、各種事業償還金に利子補給を行う事業

土地改良事業資金

事業主体　鮫川土地改良区
補助金　1,480,000円（償還元金の５％相当額）

畜産基地経営安定特別対策事業費補助金

償還金補助 3%を5%に改正　5年度追加額 1,922,000円

保育料等の減免

保育所、児童館使用料については、対象者の所得に、農業所得割合と被害率を乗じて算出した額を一月から三月まで減免します。

件数　五一件　二八四、四三〇円
鮫川保育所　二七件　一四七、四八〇円
渡瀬保育所　一四件　八五、五六〇円
西山児童館　一〇件　五一、三九〇円

あなたの稲作は!!

明治以降経験したことがないと言われる昨年の異常気象をテーマとしたパネルディスカッションを、昨年の11月13日農業技術指導センターで開催しました。このパネルディスカッションは、一番被害の大きかった稲作に絞って意見交換をし、これからの村の稲作を考えようということで、司会・助言者に瀬戸東白川農業改良普及所長、助言者にJA中央会の白石調査役とJA鮫川村の白坂指導販売課長を迎え、村内の稲作農家の代表5名の方からそれぞれ意見を発表してもらい、会場の参加者も含めて、冷たい夏を振り返り、来年以降の稲作に向け熱い意見の交換が行われました。



青戸　正彦さん(前沼)



鈴木　芳保さん(大石草)



岡部　忠市さん(青生野)

冷害を少しでも防ぐには

・健康な苗づくりが大切で、できれば成苗植えへの移行が望ましいが、中苗植えでも健全な苗づくりをすることで、薄蒔きや筋蒔きがポイントである。

ハネラーの稲作

瀬戸所長からは、今年の冷害が起きた経緯について、気象経過表により解説がありました。特に稲作への被害を大きくしたのは、七月下旬と八月上旬の低温が稲の幼穂形成期と減数分裂期にあたり、多くの不稔粒を出したことなどが説明されました。

白石調査役は、米の全体的動向について解説、減反政策から緩和政策の背景、米流通の仕組みなどを詳しく説明しました。

白坂課長は、鮫川村の稲作について解説、今年は標高によって被害程度が大きく変化していることを、坪刈り結果を例に取り説明、青生野地区など標高が高い地域では、収穫ゼロであったことが報告されました。また、このような冷害は、いままでも一年で終わるということはなかったので、来年以降も注意が必要であると強調しました。

青戸代吉さん

安定稲作のため五品種の稲を作っていますが、ポイントは、健康な苗づくり、活着の促進、いもち病対策のための肥料散布のタイミング、そして良質米づくりのための適期刈り取りです。

高野博光さん

成苗植えを導入したのは、ある程度標高があってもコシヒカリなどの人気銘柄を作ることが可能であり、また冷害にも強いためです。現在は、西山成苗植え組合を結成、仲

‘93冷夏

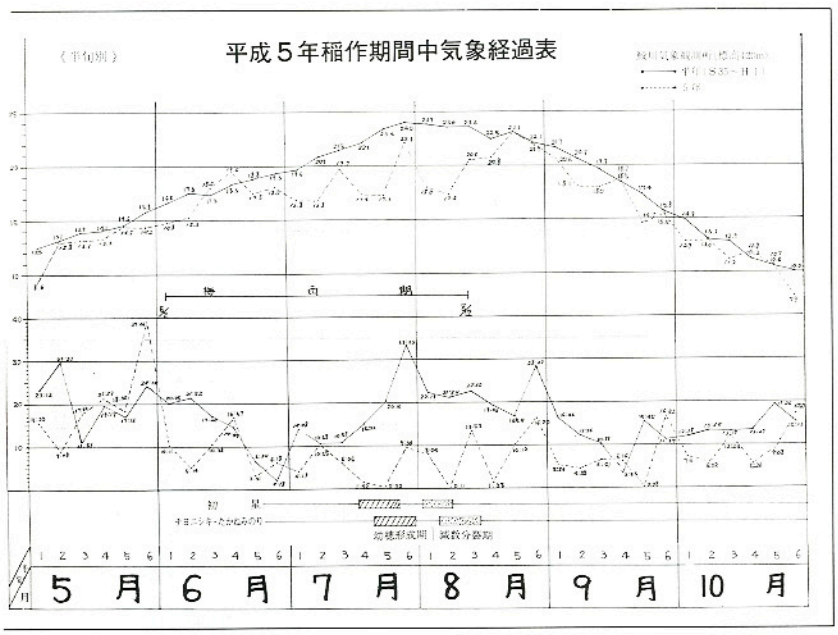
パネルディスカッション



青戸　代吉さん（彦次郎）



高野　博光さん（発地岡）



・肥料はそれぞれの方法があるが、特に土壌改良剤はそれぞれの土にあった散布が必要である。また、窒素以外の燐酸や珪酸の量に注意が必要である。

・今年のような冷害には、水管理が最大のポイントである。極力深水とできるような畦畔整備をする必要がある。

岡部忠市さん

青生野地区で稲作をしています。今年は、原因不明の病気で苗づくりを失敗してしまいました。水管理については温水ホースなどを利用して努力しましたが散々な結果となってしまいました。今日は意見を発表するというより、みなさんからご指導を受けたいという気持ちです。

青戸正彦さん

成苗植えですが、苗等は委託しています。肥料はへの字型でもなくV字型でもありません。への字型の基肥0はどうしても怖くてできません。水管理は深水にしたいのですが、畦畔の関係で思うようにいきませんでした。中干しはせず間断潅漑を実行しました。きをし健康な苗をつくることです。肥料はへの字型で葉の色により散布しました。また、今年のような年は水管理が重要だと思います。中苗植えですが、将来成苗植えに移行したいと思います。

鈴木芳保さん

主体的に稲作に取り組んで二年、薄井氏や東北大学の星川教授の本を読み、よいと思われる所を実践してみました。何と言っても苗づくりで薄蒔間と共に成苗植えについて研究し、特別栽培米制度を利用低農薬米や自然米を生産したいと思っています。これは、鮫川村ほど水のきれいな地域で稲作をしているところは少ないためです。今年の収穫は脱穀した仲間の話によると平年の五割ぐらいで、普通の稲作の人達から比べると、収穫量はありました。鮫川村のような地域では成苗植えがベストだと思います。

3月19日から

村営バスを運行

ジェイアールバス関東株式会社の「鮫川線」が今年三月十八日の運行を最後に廃止されるのに伴い、村では村営バスを運行するため、十二月定例村議会に鮫川村村営バス条例の制定について議案を提出し、十二月二十日可決されました。ジェイアールバス鮫川線の廃止は、ジェイアールバス関東棚倉支店から赤字路線廃止の通告が平成五年五月二十日にありました。その後村では、ジェイアールバス関東本社に存続の陳情等を行う一方、沿線住民との座談会を開き、議会との協議を重ね、対応策を検討した結果、村営バスを運行することにしました。

路線バスは、鉄道のない本村にとっては、地域住民の生活を支える公共交通機関として、村の中心部から五路線運行されており、隣町のジェイアール各駅の連絡や通勤・通学に利用されています。

「鮫川線」は、本村赤坂中野とジェイアール磐城棚倉駅を結ぶ一八・三キロメートルの路線で、一日二往復運行されています。

棚倉町内に通学する高校生が主に利用しており、町村を越えた地域間のつながりも多く、沿線住民にとっては欠かせない路線となっています。

村営バスの運行は、始点を村診療所前、終点をジェイアール磐城棚倉駅、路線の一部変更により総延長一九・五キロメートル、朝と夕方の二往復運行、日曜日、祝祭日と年末年始を運休とし、また、停留所を二十九か所設置、運賃はジェイアールバス関東の賃率を適用する計画で準備をすすめ、三月十九日から運行を開始する予定です。

愛称・デザイン募集中！

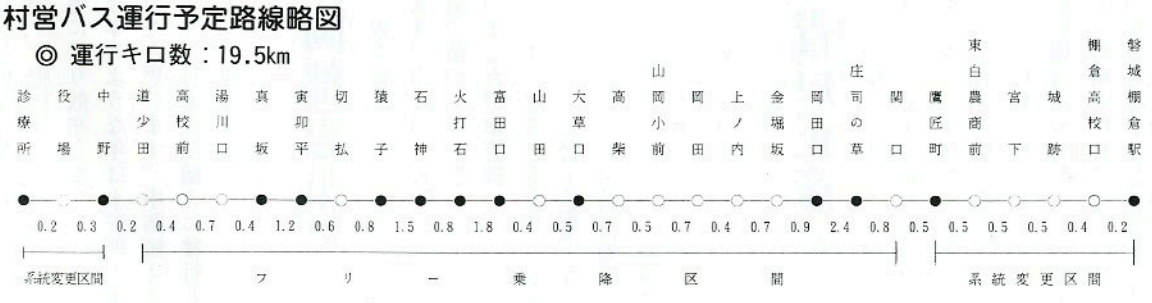
3月19日から運行される村営バスを村民の皆さんにより身近なバスとして利用していただくためバスの愛称と停留所標識のデザインを募集しています。

さきに各戸あてに配布しましたチラシの応募用紙により、1月7日まで役場企画調整課に提出してください。

愛称及びデザインが採用された方には、素敵な賞品を差し上げます。

村営バス運行予定路線略図

◎ 運行キロ数：19.5km





魅力と活力ある農業を

鮫川村農業委員会

会長　船木　彦助

あけましておめでとうございます。平成六年の初春を迎え、皆々様のご多幸と繁栄を心からお祈りいたします。

さて昨年七月、農業委員統一選挙が実施され、七月に開催された農業委員会総会において会長に選任され、その責任の重大さを感じております。

昨年は、農作物全般について、春先の好気象条件に恵まれ順調に成育し、豊作が期待されましたが、七月中旬からの長雨による日照不足、冷夏等により農作物の被害については、特に水稲は異常低温による障害不稔、出穂遅延に加えて、穂いもち病の多発による壊滅的な被害状況となり、飯米不足農家が続出する戦後最悪の被害となり、その他の農作物も大きな被害を受け、農家経済に打撃を受けました。

農政をとりまく諸情勢については、今年度から従来の関係法律が改正され農業経営基盤強化促進法と変わり発足し農政に大きな転換期を迎えようとしています。

我が国の主食である米の市場開放阻止については、県下農業委員大会及び全国農業委員大会において再三にわたって反対決議し、政府並びに県選出国会議員に対し、米の国内自給を堅持し、ガット農業交渉においては、例外なき関税化を拒否し、米などの市場開放を阻止することを、強力に要請していたにもかかわらず、昨年十二月に政府は部分開放にふみきる意向を表明しました。

農業をとりまく情勢は内外共に厳しさを増すばかりであります。これらの環境を克服して魅力と活力のある農村を作り上げるために、私たち農業委員は、農家の利益代表機関として、生産性の向上、担い手の育成、高齢化、過疎化、耕作放棄地の活用等、これらの対策に委員会機能を最大限に発揮する努力を決意しております。

ますので、一層のご協力、ご指導、ご支援をお願い申し上げまして新年のごあいさつといたします。

農業委員会委員選挙人名簿

登載申請を忘れずに！

農業委員会では、「農業委員会等に関する法律」に基づいて、毎年一月一日現在で農業委員会委員の選挙人名簿を作成し、この名簿を委員会で審査して村選挙管理委員会に提出することになっております。

この申請書を基礎に、「農業委員会選挙人名簿」が作成されます。

選挙資格のある方は、次の〔選挙資格〕を参考にもれなく名簿登載申請書に記入し、各組長さんを通じ、一月十日まで農業委員会事務局に提出してください。

〔**選挙資格**〕

一、鮫川村に住所を有し、一月一日現在正常な手続きにより居住し、昭和四十九年四月一日以前に生まれた満二十歳以上の者

二、十アール以上の農地につき耕作の業務を営む者

三、農地面積の認定については、土地台帳に登録されている面積であり、土地台帳に登録されていない農地については農業委員会が認定した面積とする。

四、以上の者の、同居親族又はその配偶者で年間おおむね六十日以上耕作に従事する者

なお不明の点は、地元農業委員、又は農業委員会事務局におたずねください。

農振の変更手続き

農地を宅地や山林など農地以外に使用する場合には、農地転用の手続きと農業振興地域整備計画の変更手続き（農用地区域からの除外）が必要になります。変更手続きには約3か月を要しますので農地転用を計画される方は早めに村農林課及び農業委員会にご相談ください。

われら戌年生まれ

今年の干支は戌・・犬は、家畜の中でも最も人間と古い付き合いをしている動物だといわれています。干支にちなみ、〝戌年〟生まれの方に新年の抱負を執筆していただきました。

今年の抱負



熟年の生き方

希望に満ちた平成六年新年

大竹　光寿（青生野）
大正11年生まれ

おめでとうございます。

昨年は何百年振りの大凶作が到来し、もちろん経済的、精神的に受けた打撃は計り知れないことでした。また、米をはじめ農産物すべてが自由化になり、大きな世界経済のうづの中に巻き込まれ、前途に不安を残した旧年でした。

このような激動の中で、年男を迎えたことは希望と計画を変なければならないような気がいたします。しかし、世の中がどのように変ろうと今年は熟年らしい行動をし、家庭においても社会に対しても迷惑のかからない日常生活に心掛けて、残る貴重な人生を有意義におくりたいと考えております。

今は物品は豊富ですが、心の豊さがともすると不足がちになるので、その点を肝に命じ、修正して、今年は素晴らしい年であることを願っております。



希望

蛭田　彦忠（広畑）
昭和21年生まれ

明けましておめでとうございます。人生折り返しの年男になってしまいました。振り返ってみれば無我無中の日々でした。豊かな自然の美しい鮫川村に生まれ育ち今日まで健康でこられたのは、何よりの宝と思っております。昨年は冷害・不景気に見舞われダブルパンチとなり、村はじめ私たちも大変な影響を受けることになってしまいました。

今年は、少しでも明るい話題があるように願うところです。

今年の私は「気力・気丈・希望」に向って生きたいと思います。この美しい自然の鮫川村を、もう一度足元から見直して、将来一人でも多くの後継者が村に戻り、美しい鮫川の自然を守っていってほしいと願います。

村民皆様の御健康をお祈りいたします。



第二の人生の第一歩

関根　昭八（赤柴）
昭和9年生まれ

新年おめでとうございます

今気がつくと五回目の戌年還暦を迎えてしまいました。

私の生れた時代はあの戦争の口火を切られた頃であり、それからは戦争、戦後多難な時代を夢中で過ごし、農家の私は農業一途に生き、農業団体の各役員も務め農業の発展を一途に感じて来ましたが、それに反して農業はますます衰退して参りました。

人生一つの区切りである感慨は否めません。

今年は次の時代の私のステップとして、今までの経験、知識を社会に還元して、自分の来るべき老後の設計を考えながら、美しい自然の村づくり郷づくりに心にも余裕をもって歩まねばならないと考えます。

過去を忘れず、悔のない生き方をしたいなど、じみじみ生涯教育の大切さも知る歳となりました。政治も社会も変革の時代におくれずに心を新たに出発の年といたします。



充実した戌年に

松本マサ子（彦次郎）
昭和21年生まれ

明けましておめでとうございます。昨年は戦後例にない程の凶作にみまわれました。私たちは農家であってかろうじて食べるだけの米が取れたという程でした。私たちの主食である米は自分たちで守りたいと思ってましたが、外国からの米の輸入量がだんだん増えてきて米がだぶついてきたとき、鮫川の米作りはどう



森　優子（遠ケ竜）
昭和33年生まれ

現在を見つめて

新年明けましておめでとうございます。私も今年は年女、つくづく時の流れのはやさに驚いております。

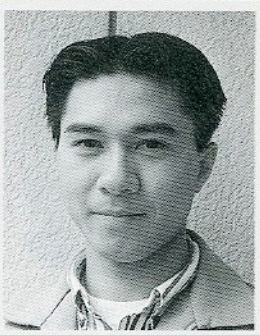
農家に生まれ育ち、平凡な女のまま農家の長男と出合い結婚し、十三年になります。

会社勤めをしながら、農業も多少手伝い、二人の子供に恵まれ子供中心の生活を過してきました。そんな中で、子供も大きく成長し、手は掛からなくなりましたが、最近、口をあます時期（第一次反抗期）を迎え、自分の意志表示を人に伝えられるようになり喜ばしい反面、二人の子供を持って改めて、親の有り難さを、身にしみて感じるきょうこの頃です。

子供には、親が出来なかったことをさせようと、いつも注文の多い口うるさい母ですが、健康で明るく元気の良い「普通」の子であればいいと思っております。これが子供に対する私の願いであり、親として責任の重大さを、強く感じさせられます。

二年前ぐらいから、急速に社会情勢も変わり、バブル崩壊で不況に陥り、農業も戦後最大の冷害や米の自由化問題など、私たち兼業農家は深刻に考えなければならない年を迎えています。会社にしろ、農業にしろ、自分の身に降りかかっていることで、一度上げた生活水準は、なかなか下げることはむずかしく、何かを節約し、今までの現状を保つ他にないのではないかと思います。子供達にも物を大切に使うことや、食べ物を粗末にしないことなどを教え、この時代を家族みんなで協力し合い乗りきらなければならないと思っております。

そんな中で、年女といえばあたり年。良いことだけを考えて、宝くじでもあたらないかなあ……。なんて、夢の夢又夢ですネ。



矢吹　昭夫（官沢）
昭和45年生まれ

村発展のために

新年あけましておめでとうございます。歳月が流れるのは早いもので、今年は自分の年男を迎えることになり、一段と心引き締る思いでいっぱいです。

私は今、ＪＡ鮫川村第二事務所に勤務し、営農指導販売係として四年目となりますが昨年を振り返ると十分な指導ができなかったと思います。

これを機に組合員の立場に立った仕事をしていきたいと思います。

また、生まれ育だった鮫川村の発展のため少しでもお役にたてるよう一生懸命頑張りたいと思います。

今年は、天候に恵まれ実り多き年になりますように、心から祈ります。

なるのだろう。田も畑も荒地になってしまいそうです。こんなに環境の良い所に住んでいるのですから、いつまでも米と野菜だけは自給していきたいと思ってます。

今まで無中になって前進のみで走り続けて来ましたが、子供が自分の手から離れ、ふと立ち止ってふり返ってみますと、今まで何をやって来たのか、自分の事だけしかみえなかったのではないのかとふと気がつきました。

やがて確実におしよせて来る高齢化の社会に向かって老人の人達の福祉ボランティアに少しでも私のこの小さな手を貸してあげたいと思います。

今は趣味等で自分で仕事の励みにしてますが、少しでも自分に満足できるように心がけ、子供のためにも頑張りたいと思ってます。



蛭田　茂（田野上）
昭和33年生まれ

十プラス指向

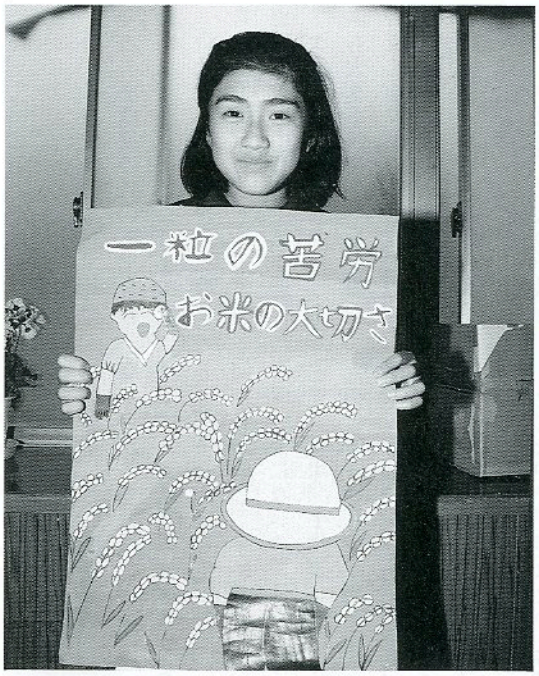
昨年は右を向いても左を見ても不景気一色でありました。経済も農業も出口が見えず私個人も多少不安な日々を送ってきました。

しかしながら、心配しているだけでは何の進歩もないのではないでしょうか。職場が不足し、人余りの時期こそ考え方によっては大きなチャンスではないでしょうか。

私も今年で三十六歳になり人生の組立てに入らなければなりません。四十歳、五十歳の節目にどのような立場にいられるか、どうしていたいのか、明確な目標をもつ必要があります。

そのためには少しくらいの不況で嘆いているわけにはいかない。自分のため、家族のためにも生き残り、楽な生活ができるようにならなければいけない。それが不動となった時、現在よりも少しだけカッコよくなっていると思うんですが・・・・・・・・。

鮫川っ子がんばったね



米消費拡大推進ポスターコンクール

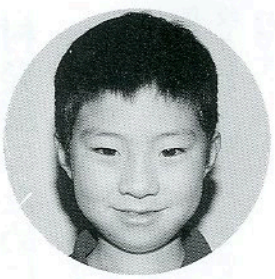
二十一世紀を担う子どもたちに、日本型食生活を見直し、米に対する一層の理解と関心をもってもらうため、福島県と福島県米消費拡大推進連絡会議主催の米の消費拡大推進ポスターコンクールが行われました。

〝ごはん〟をテーマにした標語入りのポスター三千二百三十二点の中から、渡瀬小学校五年の蛭田由加理さんの作品が、小学校高学年の部で見事最優秀賞に輝きました。

福島県児童作文コンクール

第27回福島県児童作文コンクールが行われ、二年生の部で鮫川小学校・湯坐純くんの「あくまのことば」が、四年生の部で西野小学校・関根光樹くん「ぼくはカメラ」が、それぞれ特選に輝きました。

また、渡瀬小学校六年山形孝将くん、西野小学校六年石井正子さんの作品も佳作に選ばれました。


湯坐　純くん


関根　光樹くん

福島県読書感想文コンクール

平成五年度福島県読書感想文コンクールで、渡瀬小学校一年・菊地寿輝くんの「生きものかんさつとしいくをよんで」と、鮫川小学校二年・鈴木智子さんの「おみせやさんを読んで」が、それぞれ特選に輝きました。

また、渡瀬小学校六年の蛭田紀幸くんが準特選に、西野小学校四年の鈴木小百合さんが入選に選ばれました。


菊地　寿輝くん


鈴木　智子さん

一茶まつりで秀逸に輝く 鈴木宏典くん

（鮫川小学校二年）

こいのぼり朝日をあびてめをさます



ぼくもわたしも もうすぐピカピカの一年生



平成六年四月小学校に入学されるお子さんは、昭和六十二年四月二日から昭和六十三年四月一日までに生まれたお子さんです。

平成五年十二月一日現在の調べでは、入学予定のお子さんは次の七十八名です。名前が違っていたり、もれていましたら、一月二十五日までに学校教育課（四九-三一五一）に申し出てください。

平成六年度新入学児童

（）は保護者名

◆青生野小学校　六人

○大森直樹（敏雄）○笹島さとる（千代）○大森研人（守）○鈴木さゆり（清孝）○大森絵里（嘉幸）○堀川智江（照夫）

◆渡瀬小学校　14人

○小松広明（光明）○遠藤広樹（雅人）○蛭田拓也（和浩）○芳賀拓也（峰生）○小松翼（平）○小松晋也（則之）○蛭田亨（和彦）○芳賀徹郎（精治）○遠藤崇範（羊一）○津田優樹（信一）○木之内佳輔（トヨ子）○赤坂裕範（浩幸）○木之内俊幸（喜代寿）○高久由香（美智男）

◆富田小学校　2人

○矢吹裕太（利光）○戸村泰子（正明）

◆西野小学校　12人

○舟木司（二郎）○矢吹隼（弘）○吉田喜之（喜満）○白坂安都子（勝徳）○鈴木沙織（喜康）○佐藤裕子（征一）○須藤かすみ（健）○石井賀代子（正一）○目黒なつみ（和子）○矢吹美耶子（健雄）○須藤香織（一兄）○関根真理絵（政雄）

◆西山小学校　13人

○坂本雄希（清美）○関根滋三（芳一）○阿久津雄市（市男）○國井ゆかり（秋好）○関根夏紀（正二）○我妻千鶴（房吉）○本郷恵理（栄）○松崎愛美（千弘）○関根直美（一男）○水戸香里（道夫）○関根由貴（登）○関根麻華（勝士）○水野真寿美（勉）

◆鮫川小学校　31人

○前田晃男（俊男）○矢内正一（安正）○諸橋徳次（貞夫）○鏑木卓弥（重正）○矢吹修（弘恵）○芳賀隆宏（克美）○湯坐豪人（好郎）○前田大樹（勝之）○芳賀善教（正孝）○円谷久（義一）○圓井靖彦（彦徳）○吉田芳徳（要一郎）○三瓶隆幸（正志）○寺島広晶（広実）○若林正文（俊二）○清水大翼（国明）○岡部和彦（武夫）○溝井広幸（繁）○水野貴広（孝夫）○金澤剛士（広一）○近藤功一（保弘）○遠藤ゆりか（豊）○遠藤えりか（豊）○圓井幸恵（七蔵）○田子晴香（一吉）○岡部逸美（達男）○芳賀恵里香（六扇）○小瀧歩（慎一）○阿久津沙由里（正）○芳賀綾子（博文）○金澤美紅（修男）

こんにちは

“ウォーキング鮫川の会”結成！

村では、歩くことにより健康づくりの推進を目的とした「健康の道」を設置したのを機会に「ウォーキング鮫川の会」（仮称）を結成することになり、会員募集をしたところ四十七名の参加希望がありました。

十二月二十一日、山村開発センターで会の結成総会が開かれ、会の名称を「ウォーキング鮫川の会」とし、会則や役員が決定されました。

今年度は二月頃にもう一回事業を予定しています。どなたでも参加できます。会に参加を希望される方は会長さんまたは役場住民課保健係へご連絡ください。

会　長　生方・利夫
副会長　水野　博和
委　員　北條　利雄
　　緑川　勝美
　　鷲野谷弘行
　　赤坂　博男
監　事　阿久津光翁
　　斎藤美津江

年会費　千円（高校生以下を除く）

健康づくりの基本は、「運動」「休養」「栄養」です。運動の中でも、誰にもできて運動効果の高いもの、そして日常生活に活用できるものといったら「歩く」ことが一番です。自分の体力や生活時間にあわせて生活の中にとり込んでいきましょう。

会員の方は、毎日の歩数を記録用紙に記入しておきましょう。万歩計のない方は、購入希望をとりまとめています。

（役場住民課保健係　☎四九－三一一一）



第４回 食生活改善講座

第四回目は、会津方面へ視察研修に行ってきました。山都町では食生活改善推進員交流会で今後の活動について学び、施設視察では、老人保健施設（天心ケアハイツ）、特別養護老人ホーム（北原荘）高齢者生活福祉センター（しゃくなげホーム）を見学し、高齢者の現状や福祉対策を学んできました。翌日は白虎みその工場を見学し、そのあと食文化研究家の永山久夫先生の講演を聴講しました。



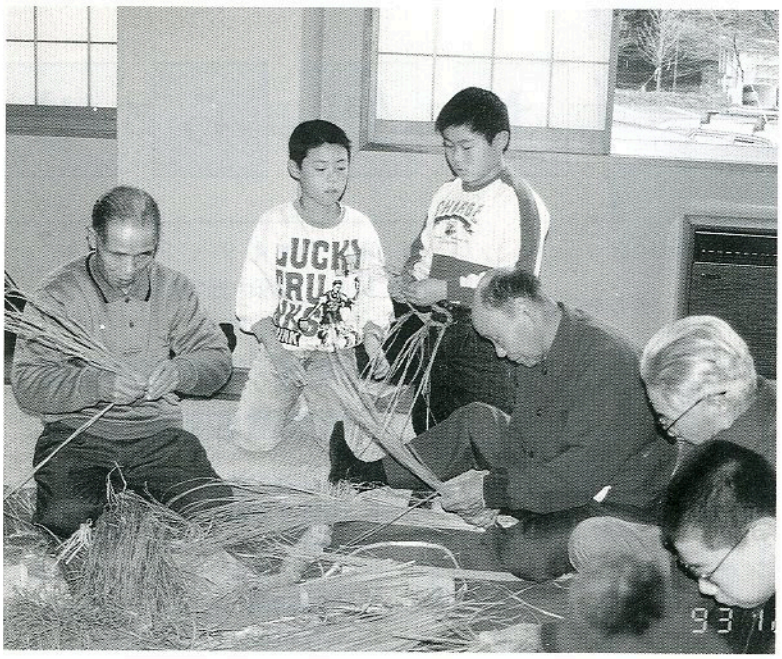
食生活改善講座 研修視察に参加して

佐藤　春枝（赤坂東野字遠ケ竜）

山都町食生活改善推進員交流会に参加しましたが、山都町改善活動は積極的にボランティア活動を展開していました。これはまさに誰のことでもない、地域住民の健康づくりは、私たちの手で充実強化を図らなくてはという意気込みに感嘆しました。それに子供から大人まで現代のいう成人病を予防するには日常お台所をまかなっている私たち婦人が心のこもった、バランスのとれた食生活で健康管理につとめなければならないという重大責任があることをあらためて強く思いました。

高齢化社会が進行する現状をみる時、地域住民の一人ひとりが生涯を通じて健やかに明るく、楽しい生活をおくれるよう自ら意欲をもって長寿の地域社会となるよう努力して参りたいと思います。

挑戦！しめ縄づくり



十二月十一日今年最後のふるさと文化ふれあい教室「しめ縄づくり」を老人クラブの協力で実施しました。

受講生の縄もじりの手つきもなかなかなもので玄関がけ用と自動車しめ飾りの二種類を作りました。

できた作品を玄関や自動車に飾られると大喜びでした。

史・資料を探る　村史編さん室

「渡瀬村救荒修祭記」

現代語釈文(2)

村民之を憾む故に此の挙あり
凡水旱天災は不虞の備民勤めざるべからず勤むれば則ち餘あり怠らば則足らず「之を戒めよ爾に出ずるものは爾に反るものなり」禍を転じて福となす前に懲り後を戒む父老之の挙意斯に在るか

寛政三年辛亥九月

水戸　立原萬撰文並書
村民　赤坂奉嘉　立石

わが書生の渡瀬村赤坂懿文を通じ、事の次第を記し碑を建立し後世への戒めとしたい旨依頼があった。元禄年間にも同様の凶作があったのに、何ら記し伝えるものがない。村民このことを遺憾としてこの度の事の実現を期すという。

およそ長雨、旱の災難は予測することができない。そのための備えを怠ってはならず、このこと考えて勤めれば必ず余裕ができ、怠れば必ず不足し窮することとなることを忘れるべきでない。自分で成し行った結末は自分の元に帰ってくることである。「禍いを転じて福となす」よう、前の災禍を深く心に刻んで後の戒めとすべきこと、この度の長老達の真意もまたここにあるのではなかろうか。

寛政三辛亥年(一七九一)九月
水戸　立原　萬　撰文並書
村民　赤坂奉嘉立石

以上のとおりである。なお、撰文並びに書を依頼した赤坂懿文は寛政二庚戌年(一七九〇)十月二十八日病没、志半ばの三十一才という得年であった。父奉嘉は申すに及ばず師の萬の悲嘆もいかばかりであったかと察せられる。

奉嘉はこのため萬に追悼の撰文と書を揚り、翌三年二月に観音寺墓所へ「赤坂懿文の碑」として建立され、厚くその霊をとむらっている。したがって立原　萬の撰文書が渡瀬村に二基残され、今日に至っていることになった。

今年は平成の大凶作、その被害は東北一円に深い傷跡を残した。「禍を転じて福となす」の教訓を文字通り果たすことができるかどうかの瀬戸際に立たされていることを肝に銘じて対処したいものである。

〈前号末尾五行中訂正〉
「十年を経た寛政三年云々」とあるのは「六年を経た寛政元己酉年」と訂正します。



広報にあなたの写真が出ていたらご連絡ください。さしあげます。

お知らせ

役場　☎49－3111
鮫川村大字赤坂中野字新宿39－5

―老齢・退職年金受給者―
源泉徴収票を大切に

社会保険庁では、老齢又は退職を支給事由とする年金受給者に対し、前年一年間に支払われた年金についての「源泉徴収票」を毎年1月末までに交付しています。

年金収入だけでは課税されない方でも、他に収入がある場合、確定申告をする際に源泉徴収票が必要ですので、大切に保管しましょう。

身体障害者巡回相談会

身体障害者のうち、肢体不自由者を対象とした巡回相談会が次により開かれます。

◇日　時
1月14日(金)13：00～15：30

◇場　所
白河市老人福祉センター

◇担当医
白河厚生総合病院
整形外科長　鈴木　幹夫

◇相談内容
・判定業務
・医療、補装具、その他の更生相談及び助言・指導
・骨格構造義肢、殻構造義肢交付又は修理の要否・処方・適合判定業務。
・その他の補聴器以外の補装具の交付又は修理・要否・処方・適合判定業務。
・身体障害者更生援護施設入所判定業務。

◇申し込み
出席希望の方は、身体障害者手帳、印鑑持参のうえ1月10日(月)までに役場住民課で手続きをしてください。

受付けます！　鮫川村奨学金の申し込み

鮫川村奨学基金の奨学生を次により募集します。

一、募集期間
平成六年三月一日～三月三十一日

二、応募資格
㈠　鮫川村に引き続き五年以上住んでいること。又は、住んでいたこと。
㈡　高等学校、高等専門学校及び大学、短期大学に在学していること。又は今春入学予定者であること。
㈢　経済的理由により修学が困難と認められること。
㈣　国又は他の団体から同種類の奨学金の貸与又は給与を受けていないこと。

三、貸与月額
㈠　高等学校、各種学校（一年～三年）在学者、月額二〇〇〇〇円以内。
㈡　高等専門学校在学者、月額三五〇〇〇円以内
ただし第三学年までは、二〇〇〇〇円。
㈢　大学及び短期大学在学者三五〇〇〇円以内。

四、貸与始期及び期間
平成六年四月から在学する学校の正規の修業期間。

五、奨学生の決定
奨学生は、選考委員会で願書の内容を審査決定し、出願者に通知します。

六、奨学金の償還
奨学金は無利子で、卒業後六か月から毎月、十五年以内に償還していただきます。
ただし、事情によりその全部又は一部を一時に償還することができます。

※申し込み、問い合わせ先
鮫川村教育委員会、学校教育課
☎　四九－三一五一

心あたたまる寄附

（社会福祉協議会）

○　前沼　我妻　一男様
亡母（チイ様）の遺志により　三〇、〇〇〇円

○　鮫川村ふるさと文化芸能クラブ代表有賀　華子様
ふるさと文化芸能クラブ発表会に伴う益金　七一、〇〇〇円

○　石川町　大竹眼科様
社会福祉事業のために　一〇、〇〇〇円

○　薄ケ久保　高木　一一様
亡父（長雄様）の遺志により　三〇、〇〇〇円

○　大平　関根　孝夫様
亡父（正雄様）の遺志により　五〇、〇〇〇円

○　反田　松本　源一様
亡母（トシ様）の遺志により　三〇、〇〇〇円

○村老人クラブ連合会（会長阿久津光翁さん）から、婦人部事業の一環として、一円硬貨で重さ約六十六kg、金額にして、六六、〇四六円。

Hello エリックです

アメリカにいる友達や家族と話をすると、私が短期間に、日本でかなり多くの新しい事を学んだのを知って驚きます。

他のＡＥＴ（語学指導助手）と私は、ある程度、日本人の特性を身につけてきたことがわかります。私たちは徐々に日本人になっているのかもしれません。

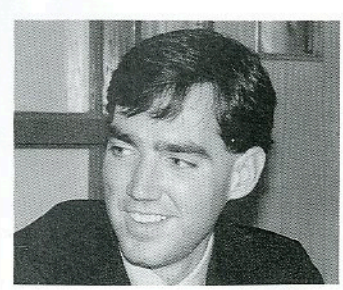
アメリカに住んでいる出産ま近い姉は、先月私が送ったイナゴの箱を空けてびっくりしました。イナゴは日本ではおいしいごちそうかもしれません、アメリカではクリケット（イナゴ類）は稲の田んぼにいるだけで、決して食事用の皿には出てきません。（アメリカでは食べないのです.!）

日本に来ているＡＥＴの友達に会うと、時々お互いにおじぎをします。５か月前にはおじぎはとても奇妙に見えましたが、今は私にとっても一つの習慣になっています。もはや私がクツをはいたまま家の中を歩き回るなんて今では想像ができません。

私がアメリカへ帰ったら、どんなふうに行動するでしょうか。しかし、私はクツを抜いだり、おじぎをしたりする以上にもっと多くのことを学びました。

他の国の文化について学ぶことは、一人の人間に世界について多くのことを教えてくれることばかりでなく、その人間に自分自身のことについて多くのことを教えてくれます。私は鮫川村に住んでいて以前よりも忍耐強く、人を敬い、一人で行動する気持ちが強くなってきました。

ハッピー　ニュー　イヤー.!
Happy　New　Year



文芸



俳句

（一茶まつり入選作品）

鮫川小一年　ねもとかなえ
さくらさくいちねんせいのらんどせる

鮫川小一年　こもりらんこ
あさごはんすずめがなかまつれてくる

鮫川小二年　森　哲也
こいのぼり朝日もあいさつしているよ

（文化祭作品より）

いわき市　金沢　暁舟
岬への道幾曲り石蕗の花

反田　小山田清哲
初霜や不稔の稲は立ちしまま

道少田　山本　朗史
煌々と水が落ちゆく不稔の田

横座　矢吹　茂
冷害の夕日を浴びて赤とんぼ

西山　矢部　正子
ほまち畑峡の老婆に秋日和

二反田　大平　太平
秋刀魚焼く匂いの届く畦の道

新宿　斉須　信子
刈り残る稲まっすぐに風募る

道少田　山本五十鈴
晴一日冬に備える野菜室

福島市　中井　恒峯
真白な花びら二つ返り花

押目　北條素人坂
初霜におくれまといのハーベスター

塙町　沢　草二
枝垂れて紅葉密なる奥の院

大　塩　矢吹　呂孝
寒椿日ざしを受けてころり落つ

前　沼　黒田　寿香
ラメ入りの車夢見る十三夜

短歌

岫長　北條　平
広報の文芸欄をまず開く在京の友は思慕湧くと言う

官代　前田　栄美
こおろぎの声も聞けずに深む秋落葉の音を夜半にききおり

棚　橋　関根　一好
大方の葉は散り敷きて鮮やかに紫式部は輝きはじむ

越　虫　星　武
「孫の手」で背中をかけば曽孫来てぼくの手よと奪いゆくなり

中野町　赤坂　朝子
山の端の紅葉水に映り出す川をわたれり冬のかけ橋

大石草　鈴木イミ子
葱を寄せ大根埋める冬仕度急かせる如く雪虫は舞う

青生野　吉成　タカ
平成五年大凶作と青立ちの稲を写生し手帳にのこす

酒　垂　石井　カヤ
風止みし夜はしんしん静まりて物音のせぬ寂しき様に

岩野草　坂本　雪絵
都会に住む吾子ら集る江戸崎の駅のあかりの眩しさに合う

大戸中　小松セツ子
旅行日の前に求めしカーデガン寒き折にと嫁は差し出す

道少田　関根　京子
わが心やり所なきこの夕べふと見る空に星のまたたき

田苗下　蛭田　正
正月に咲かすと妻は福寿草を掘り来て鉢にす師走の初旬（はじめ）

楢久保　森　芳子
ザリガニを買ったと小鉢覗きつつ目を輝やかすマンション住みの子

田苗下　蛭田　浩市
科学進歩せしも自然には勝てぬという今年の冷夏凶作となりて

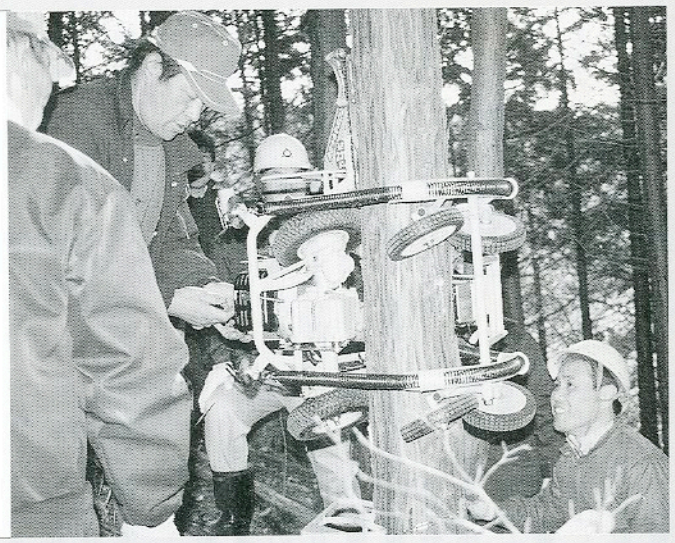
名　下　須藤美代子
うっすらと赤き花弁に包まれて白山茶花の蕾はにかむ

渡瀬村救荒修祭記碑文
臨写を寄贈



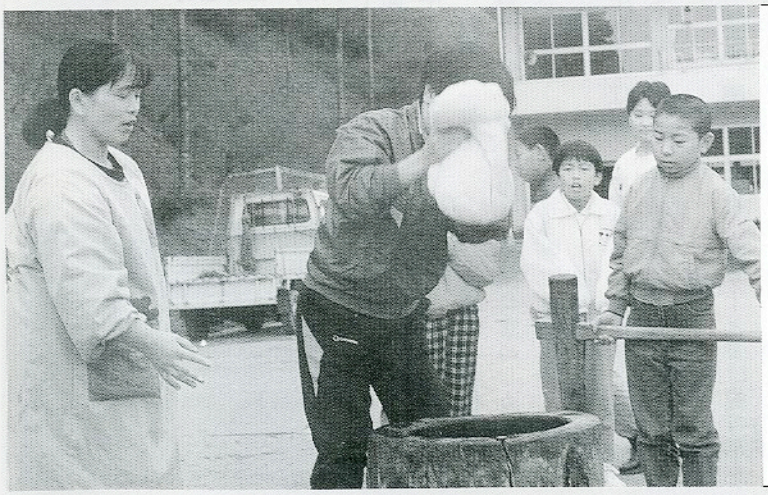
芳賀弘さん（大字渡瀬字江竜田）は、今年の大凶作に当たり、天明大飢饉の天災を訓戒し、今後の五穀豊穣を祈願するため、渡瀬村救荒修祭記碑文を臨写した掛軸を村教育委員会に寄贈してくださいました。芳賀さんは、五年前から書道を本格的に始められ、平成五年一月に二四〇字の碑文一字一字を六時間がかりで一気に書き上げ掛軸に仕上げたものです。

良質材生産をめざして



12月15日　村と東白川郡森林組合の主催による「枝打ち講習会」が、戸倉地内で行われました。無節の良質材を生産し、高収入を得るために開かれたもので、森林所有者七人が参加しました。枝打ち技術の講習と、六㍍の樹木を約十分で枝打ちする「枝打ちやまびこ」をラジコンで操作し、枝打ちの効率を上げるために実践的に行われました。

おいしかった汁もち

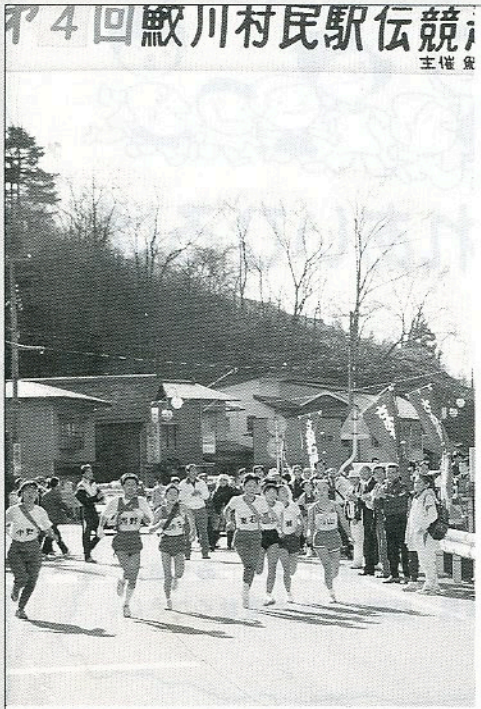


11月20日　富田小学校で収穫祭が行われました。五月十七日に二〇〇平方㍍の田んぼに植えた「ひでこもち」は、冷害により、精米で一斗一升しか収穫できませんでした。この日は、児童二十三人と児童の家庭から一人ずつ参加し、うすでもちをつき、持ち寄った野菜でけんちん汁を作り、収穫を喜びながらおいしく食べました。

フォトルポ・

全力を尽くし村民駅伝

12月12日　第四回鮫川村民駅伝競走大会が行われました。今年は、西山、中野、東石、富田、渡瀬の各地区体育協会から一チームと西野体協から二チームが出場しました。午前十時役場前をスタートし、鬼越→水口→滑石→見渡→真坂→役場前→富田小前→福原→渡瀬小入口→福原→富田小→役場前ゴールで前年より二区間、一・九四キロ長い十三区間、三十三・九二キロを各選手が全力を尽し完走しました。沿道には、選手たちに声援をおくる人垣ができ、ゴールでは最終走者を迎える人たちから歓声と拍手がおくられました。また、婦人会のみなさんがトン汁を作って、選手や応援の皆さんにサービスするなど村を挙げての大会となりました。



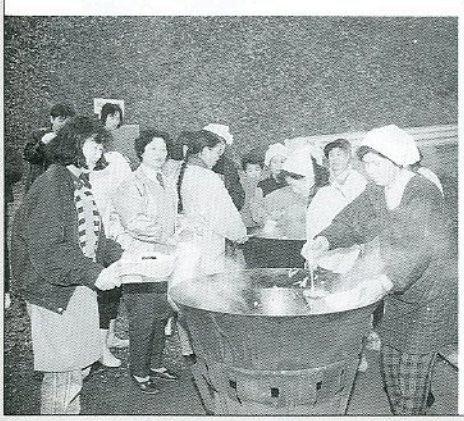
結　果

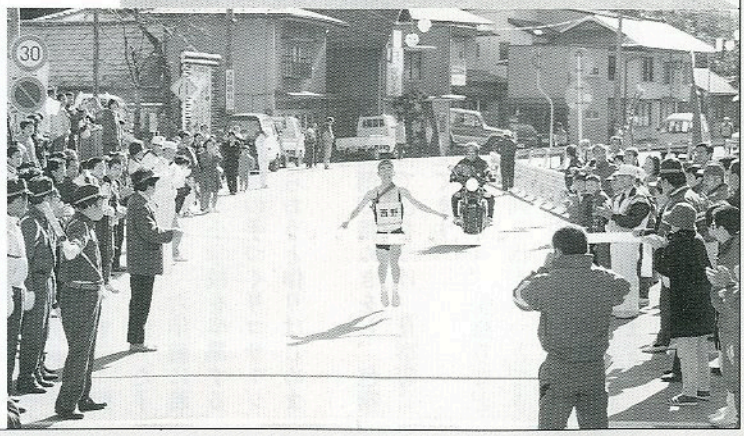
第一位　西野Aチーム　二時間一〇分五三秒
第二位　東石チーム　二時間一三分五五秒
第三位　西山チーム　二時間一六分〇一秒

区間賞

第一区　北條ひとみ（西野A）
第二区　芳賀　初（渡　瀬）
第三区　円井　義人（東　石）
第四区　諸橋　忠男（東　石）
第五区　矢吹　博子（西野A）
第六区　大竹　祥子（西　山）
第七区　鈴木　芳保（東　石）
第八区　矢吹　智（西野A）
第九区　藤田　大樹（東　石）
第一〇区　本郷美那子（西　山）
第一一区　国井　靖和（渡　瀬）
第一二区　北條　訓（西野A）
第一三区　須藤　勝広（西野A）





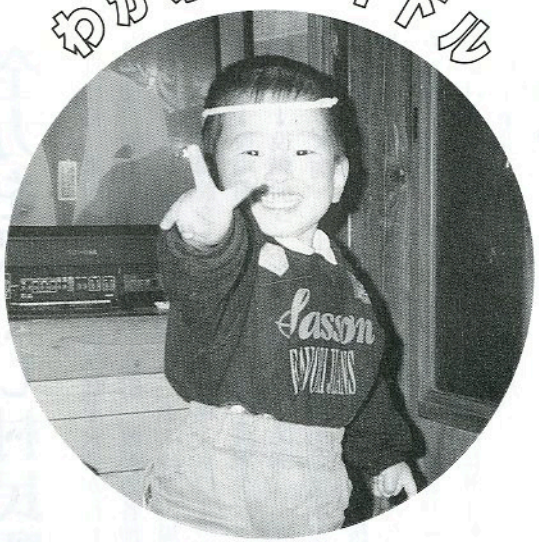




ふれあいひろば

ふれあいひろばは、村民のみなさんに登場していただくページです。
2歳前後の〝お子さん〟と〝いろんな名人〟を紹介します。みなさんの意見、感想などもお寄せください。

わが家のアイドル



石井崇哉くん
（平成3年8月3日生）
石井照也・文子さんの二男
（赤坂東野字木戸沢）

にんじんが好きで、みそ汁などに入れると〝にんじんさんちょうだい〟と言って食べています。
鉄砲が大好きで、誰にでも打ち、〝ヤラレタ〟と言って倒れろと言いながら遊んでいるやんちゃな男の子です。（おかあさん）

名人登場

まゆの花づくり名人

岡部　礼子さん（45歳）
（渡瀬字青生野）



義妹が養蚕をしていたときに、養蚕指導の先生から、繭玉を使った手芸として指導いただき、六年前に義妹と私の子どもが小学校を卒業する際、卒業式に親の手づくりコサージュをつけてもらおうと作りはじめました。
繭を中性洗剤で脂ぬきをし、色物は絹染用染料で色をつけ、花形等に切って組み立てます。
ブーケやコサージュ、髪飾りなどを作りますが、同じ物が二つとできないところに魅力を感じますね。ブーケを作るときは、ドレスの色やデザインに合ったものを考えます。
仲間の作品を見たりして工夫しますが、数多く作ることがコツですね。

●●・ふたりでバトンタッチ～㉜・●●



萩原　長治
♡秀子さん
（赤坂東野字大根屋敷）

長治さんは、萩原實さんの長男、秀子さんは、赤坂西野佐藤米子さんの二女で、昭和六十一年五月二十五日結婚式を挙げました。

おふたりは同級生の結婚式に出席して知り合いました。結納まで六か月、結納から結婚まで六か月と一年の交際を経てゴールインしました。

長治さんは秀子さんの〝ハッキリした性格で明るいところ〟に、秀子さんは長治さんの〝やさしいところ〟にひかれたそうです。

現在、長治さんは自営の建築業を、秀子さんは織和工業に務めています。

趣味の海釣りやカラオケも揃って出かけるアツアツのおふたりです。どうぞいつまでもおしあわせに。

萩原さんの紹介で

次は

高木義男♡則子

さんです。

保護司に宗田秀郎さん



法務大臣から委嘱される

保護司として、このたび新たに宗田秀郎さん（赤坂中野字巡ケ作）が法務大臣から委嘱状を交付されました。

保護司とは、罪を犯した人の更生を助け、犯罪の予防のため、社会奉仕の精神をもって地域社会の浄化と公共の福祉に活動している方々です。

本村の保護司は宗田さんのほかに北條　平さん（赤坂西野字岫長）と遠藤幹雄さん（渡瀬字木之根）の二人が委嘱されております。

１月10日は１１０番の日

１月10日は、「１１０番の日」です。

皆さんから通報される「１１０番」は、棚倉警察署で受信する仕組みになっています。事件、事故などが発生した場合、通報が早ければ早いほど犯人検挙の確立が高くなります。

また、「１１０番」をかけるときは、落ちついて、はっきり話してください。

――１１０番をかけるとき――

◇**何があったか**
交通事故、泥棒、けんかなど

◇**いつ、どこで**
発生時間、場所（近くの目標物）など

◇**事件、事故の内容は**
道路に人が倒れている、ケガ人がいるなど

◇**犯人は**
人相、特徴、車のナンバー、逃げた方向など

――正しい利用を――

「１１０番」は、緊急通報用の電話ですので、問い合わせや相談は、加入電話でお願いします。



鮫川村成人式

1月15日 午前10時

新成人の門出を祝いましょう

今月の人口

（12月1日現在）

（人口）	（男）	（女）	（世帯）
5,220人	2,577人	2,643人	1,132戸
（＋17）	（＋7）	（＋10）	（＋1）

こちら窓口

（11／21から12／20までの届出）

お誕生おめでとうございます

住所	赤ちゃんの名前	月/日	保護者
青生野	笹島（ささじま） 千秋（ちあき）	11/15	笹島 兼光
新宿	小松（こまつ） 由佳（ゆか）	11/24	小松 照義
摺合	芳賀（はが） 恭輔（きょうすけ）	11/28	芳賀 一博
関下	藤田（ふじた） 冬華（ふゆか）	12/10	藤田 正孝

おくやみ申し上げます

住所	亡くなられた方	年齢	世帯主
前沼	我妻 チイ	80	我妻 一男
薄ケ久保	高木 長雄	64	高木 一一
大平	関根 正雄	79	関根 孝夫
反田	松本 トシ	86	松本 源一

心配ごと・行政相談

1月20日（木）午前10時～午後3時
山村開発センター

お気軽にご相談ください。

今月の納付

国民年金保険料 1月分
納期限 1月25日

ゴミは収集日に出しましょう

収集場所	種別	1月	2月
江竜田～中野町～福原～田尻橋～反田～鍬本田～前沼～広畑～役場～鮫川保育所～農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～伏木田～大塩コース	可燃物	6.10.13.17 20.24.27.31	3.7.10.14 17.21.24.28
	不燃物	14.28	25
さぎり荘～村営住宅コース	可燃物	6.10.13.17 20.24.27.31	3.7.10.14 17.21.24.28
	不燃物	12.26	9.23
鮫川分校（可燃物木曜のみ）～鮫川中学校コース	可燃物	6.10.13.17 20.24.27.31	3.7.10.14 17.21.24.28
	不燃物	13.27	10.24
関下～越虫～丸谷地～赤小名入口～青生野小学校～世々麦～葉貫～戸草～蕨ノ草～中沢入口～中沢～関口コース	可燃物	5.12.19.26	2.9.16.23
	不燃物	12.26	9.23
真坂～寅卯平～西部集落センター～茅～本坂～酒垂～滑石～塚本～塩倉～荻ノ沢～折戸～宝木～水口～落合～官沢コース	可燃物	5.12.19.26	2.9.16.23
	不燃物	13.27	10.24
官代～楢久保～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜コース	可燃物	5.12.19.26	2.9.16.23
	不燃物	14.28	25
石井草～前田～大久保～鬼越～戸倉～赤柴～菅田～大沢入口～余所内～沼野沢～岩野草～鍛治平～薄ケ久保コース	可燃物	5.12.19.26	2.9.16.23
	不燃物	21	18

休日のお医者さん

月日（曜）	棚倉町	塙町	石川町
1月1日（土）	東白川中央病院	中島医院	大野病院
2日（日）	藤田医院	車田病院	—
3日（月）	あらまちクリニック	根本整形	田中内科医院
9日（日）	杉山医院	厚生病院	中島病院
15日（土）	和田医院	—	大野病院
16日（日）	勝田医院	石川医院	原外科医院
23日（日）	東白川中央病院	—	中島病院
30日（日）	大木医院	—	大野診療所
2月6日（日）	東白川中央病院	中島医院	鹿岡産婦人科医院

＝あとがき＝

♥明けましておめでとうございます。今年の干支は戌・私たちの最も身近な動物ということで、今までとは趣向を変え、表紙に犬を登場させました。♥新年の抱負を執筆くださいましたみなさん、ありがとうございました。文章を書くのは苦手とおっしゃる気持ちよくわかります。私も同じですから♥今年は五、二二〇人の村民みなさんに登場していただくような広報さめがわにしたいと思います。よろしくお願いします♥今年こそ大豊作となることをお祈りします。